

## 令和6年度砂川市小中一貫教育推進委員会

## 各ワーキンググループの業務について

## 1 令和5年度の取組について

## (1) 小学校教育課程部会 ⇒教育課程WG、研究推進WG

## ○ねらい

- ・各小学校において、校内研究と関連付けながら「砂川市小学校 学習スタンダード」を踏まえた試行・検証を行い、「学習スタンダード」を改善し、令和6年度からの全市的な運用体制を確立する。

## ○ゴール

- ・検証、改善を通して「学習スタンダード」の改訂版を完成させ、次年度からの運用につなげる。
- ・保護者向けの「砂川市小学校 学習スタンダード」を作成する。  
⇒達成（いずれも作成も完了）

## ○取組内容

- ・会議：5回（令和5年6月13日・8月25日・10月26日・12月15日・令和6年2月26日）  
⇒「砂川市小学校 学習スタンダード」を踏まえた授業実践を行うことを、部会員を通じ、各学校へ意識づけを行ったことにより、市内小学校において、指導過程、持ち物などの統一が図られた。  
⇒成果や課題を明確化し、改善を要する点を協議・整理し、『ふりかえり』の意図や行わせ方などを具体的に示したほか、各学年で使用するノートのマス目や、学校に置いてよい持ち物を統一した。  
⇒各学校の「よくわかる〇〇小」をもとに、各校の実態を比較・交流し、実態を把握しつつ、統一が必要な事項を洗い出した。  
⇒それらを踏まえた改訂版（補完版）及び保護者向けリーフを完成させた。  
⇒今年度から使用される教科書採択に合わせ、市内統一した年間指導計画等を作成した。  
⇒義務教育学校で取組「総合的な学習の時間」のカリキュラムを共有し、各学校の教育課程に内容を反映させた。

## ○取組の成果

- ・「砂川市小学校学習スタンダード」（改訂版）の作成
- ・「砂川市小学校学習スタンダード」（保護者版）の作成
- ・小学校の各教科の年間指導計画等の作成

## ○展望

- ・教育課程（教務系業務）全般の詳細について検討・作成をする。
- ・「学習スタンダード」は前年度にある程度決着をつけたことから、今年度以降、内容の見直しは微調整程度に済ませ、中学校での浸透を図る。
- ・今年度は中学校の教科書採択年度であることから、中学校の各教科等の「教育課程」作成に合わせて小学校の「教育課程」をすりあわせ、R8から運用する「教育課程」を編成する。
- ・「総合的な学習の時間」と「学級活動」の教育課程については、砂川市としての特色ある内容とさせる必要があることから、大きな方向性は指導参事が示し、その内容を検討する。
- ・日課表、特別教室割、年間行事予定（時数計算）、通知表様式等について、詳細を決定、作成する。
- ・その他、C4thの利活用、タブレット端末のスキル系統表について協議をする必要がある。

(2) 小学校連携事業部会 ⇒学校連携WG

(R5.3.22 小中一貫教育推進委員会において、R5からの名称変更承認)

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・令和8年4月の義務教育学校新設に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の5・6年生の95%以上が「楽しかった!」「交流できた!」「また他校の人と会いたい!」という気持ちを抱かせる。

⇒**ほぼ達成** (「楽しかった!」: 96.2%、**「交流できた!」: 89%**)

⇒目標設定数値が高すぎたことから、次年度は適正な数値目標に変更する。

○取組内容

- ・会議: 8回 (令和5年6月27日・7月13日・8月23日・9月28日・11月22日  
・12月19日・令和6年1月25日・3月1日)

⇒昨年度末に決定した計画を具現化させた。

⇒内容の充実を図るとともに、関わる教職員の参画意欲を高めることができた (特に6年生担当教員同士)。

⇒反省と実態を踏まえ、実現可能なR6の計画を策定した。

○取組の成果

- ・「市内小学校5校交流会」の企画・実施

→1回目 10月20日(金) 13:20~14:50 総合体育館(6年生)

→2回目 2月16日(金) 10:10~11:40 総合体育館(5年生)

13:20~14:50 総合体育館(6年生)

- ・「合同遠足」の企画・実施

→9月8日(金) ※9月1日(金) 予定だったが雨天延期

○取組の成果

- ・企画した取組の確実な実施

○展望

- ・「合同遠足」「5校交流会」の持ち方について課題を整理し、小中連携事業部会の実施してきた取組と連動させながらスムーズに活動を推進させる。

(3) 小中連携事業部会 ⇒学校連携WG

○ねらい【R5は「中1ギャップ解消」を重点】

- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生と行う授業は楽しかった!」「中学校での授業が楽しみ!」という気持ちを抱かせる。

⇒**達成** (5年生: 93%、6年生: 94%)

実際のアンケートは「中学校の先生の授業をまた受けてみたいですか?」であったことから、次年度はその文言で指標を設定する。

○取組内容

- ・会議：5回（令和5年6月2日・7月13日・10月12日・12月7日・令和6年2月29日）  
⇒年4回のチャレンジ週間の分析・考察を行い、統合準備だよりや学校だより等で結果を保護者と共有した。  
⇒チャレンジ週間の保護者向け文書を「砂川市小中一貫教育推進委員会委員長」名で統一して発出した。  
⇒乗り入れ授業は小学生が砂川中学校に行つて実施する形をとつたが、中学校教員の負担軽減と、小学生が中学校の様子を知ることができる観点から有用な取組とできた。  
⇒乗り入れ授業に関わるアンケートを実施・集計した。  
⇒小中統一した「家庭学習の手引き」を作成し、市P連とも連動させた。  
⇒砂川版「キャリア・パスポート」を作成した。

○取組の成果

- ・小中統一した「家庭学習の手引き」作成。
- ・砂川版「キャリア・パスポート」作成。

○展望

- ・中学校の家庭学習取組シートを小学校のチャレンジシートに様式を寄せる。
- ・「チャレンジ週間」の取組方法は今年度である程度決着がついたので、次年度以降は今年度の取り組み方をベースとしたルーティンにする。
- ・R6には、中学校教員とALTによる5年生の乗り入れ授業が毎週行われることから、スポット的な「乗り入れ授業」は6年生のみとする。
- ・中学校教員による低学年（1・2年）対象の外国語活動も実現する方向。
- ・作成した「砂川市版キャリア・パスポート」の運用を開始する。

(4) 施設建設部会

○ねらい

- ・義務教育学校建設基本設計を進めるにあたり、施設面も含めた意見を教職員から参酌する。

○取組

- ・会議：1回（令和5年5月24日）

○展望

- ・今年度からの工事着工を進める。



2 砂川市小中一貫教育推進計画に基づく小中一貫教育推進の年次計画について

令和8年度の義務教育学校の開校に向け、令和5年度～令和7年度の3か年において、全ての学校において共通して取り組む実践内容を整理するとともに、小中一貫教育の実践を通して、令和8年度の義務教育学校のスムーズな開校につなげる。

(R6重点 **赤字：各学校**、**青字：部会** ☑はR5～すでに取り組んでいる事項)

基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 全国学力学習状況調査結果の公表</li> <li>☑ 各学校の学力調査結果の分析及び学習指導の改善</li> <li>☑ <b>オンラインによる授業参観を通して、教職員が主体的に研修できる機会の設定【研究推進WG】</b></li> <li>☑ <b>学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現</b></li> <li>☑ <b>家庭学習の習慣の定着を目指す取組【学校連携WG】</b></li> <li>○ <b>義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の作成【研究推進WG】</b></li> <li>☑ 前期課程（後半）の一部教科担任制を見据えた指導体制の構築</li> <li>○ <b>小中連携した英語学習の実施《小中一貫教育加配の活用》</b></li> </ul>		
砂川市GIGA スクール構想の推進		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ <b>一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用</b></li> <li>☑ 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上</li> <li>○ <b>一人一台端末の活用スキル系統表の作成【研究推進WG】</b></li> </ul>		
不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>☑ 小中連携した児童・生徒の情報共有</li> <li>☑ 小中一貫した教育相談体制整備による中1ギャップの減少</li> <li>☑ <b>スクリーニングを活用した組織的な児童生徒理解の促進と教育相談体制の確立</b></li> <li>☑ <b>一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施</b></li> </ul>		
幼保・小中（6校）の連携		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童会、生徒会が連携した交流事業の実施</li> <li>☑ 中1不安解消を目的とした模擬授業体験、学校説明会等の取組</li> <li>☑ <b>中学校教員の乗り入れ授業の実施【学校連携WG】</b></li> <li>○ <b>小中合同研修会の実施《市教委》</b></li> <li>○ <b>幼・保・小のつながりを意識した特別な配慮を必要とする子どもの円滑な引継ぎ《市教委》</b></li> </ul>		
ふるさと砂川を誇りに思う心の育成		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善</b></li> <li>○ <b>9年間を貫く「総合的な学習の時間」のカリキュラム作成【教育課程WG】</b></li> <li>☑ 総合的な学習の時間における地域と連携した体験学習の実施（職業体験、職場見学、農業体験等）の実施</li> </ul>		

☑ コミュニティ・スクールや社会教育と連携した地域学校協働活動の推進		
防災教育や安全教育の充実		
令和5年度	令和6年度	令和7年度
☑ <b>火災、地震時の避難訓練の実施</b>		
☑ 不審者対応の避難訓練による危機管理意識の育成		

### 3 令和6年度取組の重点について

砂川市教育目標の基本理念「豊かな心と 学ぶ力を育むまち」を中心施策とし、「砂川市教育推進計画」及び「令和6年度砂川市教育実践方針」に基づき、次の事項を全ての学校で共通して取り組むべき本年度の重点とする。（赤字：各学校、青字：部会）

基礎学力の定着と学習習慣の向上、評価分析	
内容	具体案
○ 全国学力学習状況調査結果の公表	学校だよりや学校運営協議会で早期に公表
○ 各学校の学力調査の結果の分析及び学習指導の改善	授業改善に向けた校内研修の充実
○ オンラインによる授業参観を通して、教職員が主体的に研修できる機会の設定	全小学校で実践・検証⇒研究推進WG
○ 学習スタイルの統一（砂川スタンダード）による小中切れ目のない学習指導の実現	全小学校で実践・検証⇒教育課程WG
○ 家庭学習の習慣の定着を目指す取組（家庭学習チャレンジ週間の実践）	全小中学校で実践・検証⇒学校連携WG
○ 義務教育9年間を見通した各教科学習内容系統表の作成	研究推進WG
○ 砂川市学習スタンダードによる授業改善に向けた「小中合同研修会」の実施	市教委主催
○ 小中連携した英語学習の実施	小学5年生で外国語科の乗り入れ授業（毎週）
砂川市GIGA スクール構想の推進	
○ 一人一台端末の授業時及び自学自習時における活用（学習者用デジタル教科書・AIドリル教材等）	英語、算数・数学で実施 ※統一学習アプリ検討⇒校長会等
○ 対面指導とオンライン教育とを最適に組み合わせた授業改善による学びの質の向上	日常の実践・校内研究
○ 一人一台端末の活用スキル系統表の作成	教育課程WG（砂教研？）
不登校等の生徒指導上の諸課題の減少と未然防止	
○ 小中連携した児童・生徒の情報共有	小学校6年生の担任と中学校教員の情報交流 砂川市特別支援教育連携協議会での情報交換
○ スクリーニングを活用した教育相談体制の確立	<u>Q-Uを活用した</u> 個別の教育相談体制の整備
○ 一人一台端末を活用した、不登校児童生徒へのオンラインによる学習支援の実施	授業配信（双方向でできれば対応） ※ニーズを確認する必要あり

小学校1・2年生での外国語活動も設定する。

幼保・小中（6校）の連携		
○	小学校5校交流会の拡充（4・5・6年生で実施） ※6年生 11月29日（金） ※4・5年生 2月21日（金）	学校連携WG ※学校独自の小小連携・小中連携の取組推進 （合同授業、学習サポート連携 等）
○	小学校5校合同遠足の実施（5・6年生で実施） ※9月13日（金） 予備日：9月19日（木）	学校連携WG
○	中学校教員の乗り入れ授業の拡充 （6年生：年2時間実施） （小学校1・2年生での外国語学習実施）	学校連携WGで取りまとめ
○	中1不安解消を目的とした模擬授業体験、中学校での学校説明会等の工夫	模擬授業体験：中学校入学説明会
ふるさと砂川を誇りに思う心の育成		
○	9年間を見通した「キャリア・パスポート」の運用・改善	年3回の記入とポートフォリオ
○	9年間を貫く「総合的な学習の時間」のカリキュラム作成	教育課程WG

#### 4 令和6年度の取組の具体について

##### ◇ワーキンググループの活動について

- ア 会議日程は（案）であり、それぞれのグループ長が学校の予定等を勘案しながら、構成員に確認をして設定する。
- イ 教育委員会事務局も会議に参加することを基本とするが、議会等の関係から参加が叶わないこともある。その場合は、グループ長は会議内容を指導参事まで報告する。
- ウ 会議場所は、各グループ長が在籍する学校を基本とする。
- エ 各WGで検討・作成したものについては、学校経営WGで再度検証し、最終的に「砂川市小中一貫教育推進委員会」において決定する。

#### (1) 教育課程ワーキンググループ

##### ○ねらい

- ・教務的視点から、義務教育学校開校時に学校教育活動がスムーズに推進できる素地をつくる。

##### ○ゴール【最低限のマスト】

- ・義務教育学校開校時の教務系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】
- ・「総合的な学習の時間」の教育課程を完成させる。
- ・「各教科・領域」の教育課程を完成させる。
- ・「時間割表」（案）を完成させる。
- ・「日課」を確定させる。
- ・「通知表」を完成させる。
- ・「全体計画」を完成させる。
- ・「砂川学園 学習スタンダード」を作成・浸透させる。【中学校への汎用】

##### ○取組

教育課程WGでは、義務教育学校開校までに次のものを作成、検討し決定します。

- 【作成するもの】
- 教育課程（教育計画・配当時数等）
    - 各教科
    - 総合的な学習の時間
    - 児童・生徒会活動
    - 特別支援
    - 学校行事
    - 児童・生徒会活動
    - クラブ活動
  - 全体計画
  - 時間割
  - 特別教室割
  - 通知表
  - キャリアパスポート
  - 年間計画
  - 学校要覧
  - 「よくわかる●●」リーフ
  - 特別支援教育CNリーフ
  - タブレットスキル系統表
  - スタートカリキュラム
  - 経営計画

- 【決めるべきこと】
- 教材・副教材
  - プール学習の持ち方
  - スキー学習の持ち方
  - 武道の持ち方
  - 通知表の内容
  - 指導要録のデータ整理
  - 校務支援システムの利活用
  - 学習に関わる持ち物の統一
  - 使用するノートの統一
  - 教室環境の統一（備品整備）
  - テスト発注
  - 旅行的行事の仮予約
  - タブレット端末活用のきまり
  - タブレット端末  
持ち帰りのきまり
  - スクールバスについて

- 学校行事に関わること
  - 入学式
  - 始業式
  - 参観日・懇談会
  - 学校経営説明会
  - 家庭訪問（個人懇談）
  - 宿泊学習
  - 修学旅行
  - 終業式
  - 学芸会
  - 卒業証書授与式
  - 修了式・離任式

○展望

- ・作業量が膨大であることから、マストのものを着実に決定・作成させながら、決めやすい（作りやすい）ものからどんどん手をつける。
- ・R6は、その名のとおり各学校の「教育課程」をすりあわせ、R8用の「教育課程」を編成することがメインになる。
- ・特に「総合的な学習の時間」と「道徳科」「学級活動」に特色をもたせる必要があることから、大きな方向性は指導参事が示す。
- ・「学習スタンダード」は微調整のみとし、中学校の内容を盛り込んで作成する。

○会議日程（案）

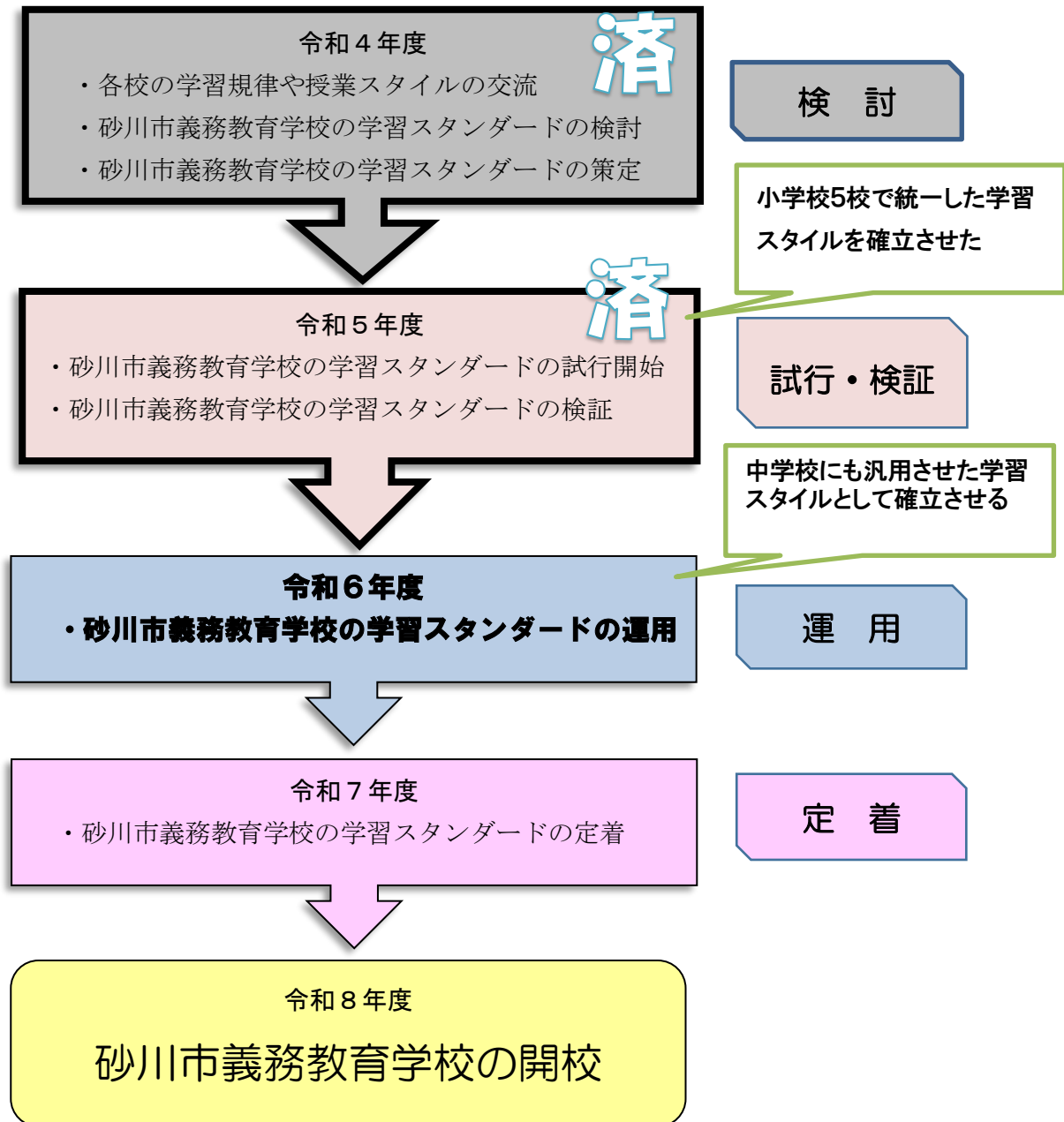
	日程（案）	主な内容
第1回	5月8日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	5月28日（火）	学校行事の検討、作成するものの分担（データのシェア）
第3回	6月10日（月）	学校行事の検討
第4回	7月22日（月）	決めるべきことの検討・協議、質疑応答
第5回	8月30日（金）	決めるべきことの検討・協議、質疑応答
第6回	11月28日（木）	決めるべきことの検討・協議、質疑応答
第7回	12月4日（水）	教育課程の見直し
第8回	令和7年1月22日（水）	教育課程の見直し
第9回	3月5日（水）	各種作成物の確認

## 砂川市における義務教育学校 授業スタンダード策定に関わる推進日程

### (1) 授業スタンダード設定の趣旨

砂川市の子供たちに、学習指導要領で示されている3つの資質・能力「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を確実に身に付けさせ、義務教育学校の目指す児童生徒像に迫るため、日常の授業の中で授業スタンダードを意識した授業づくりが必要となる。

### (2) 推進計画





# 砂川市小学校「学習スタンダード」

## 1. 学習指導要領で示されている「3つの柱」と目指す児童生徒像

＜身に付けさせる力＞

「資質・能力」の3つの柱

「知識・技能」・「思考力・判断力・表現力」・「学びに向かう力・人間性」



砂川市小中一貫教育「全体構造図」による目指す児童像

## 目指す児童生徒像【確かな学力】

**よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒**

## 2. 学びの姿勢

### (1) 学習のきまり

#### ＜授業前＞

- ①次の時間の準備をします。～教科書、ノート、筆記用具～机上整理→(2)
- ②忘れ物をしたときは、休み時間のうちに先生に報告します。
- ③チャイムが鳴り終わるまでに席に着きます。

#### ＜授業中＞★正しい姿勢で座ります。

##### 【聞<】

- ①話す人を見ながら最後まで聞きます。
- ②自分の考えと比べながら聞きます。
- ③聞き終わったら返事をします。(同じです。いいです。他にあります。など)

##### 【発表する】

- ①名前を呼ばれたら相手に聞こえるように返事をします。
- ②みんなに聞こえる声の大きさと語尾まではっきり話します。
- ③順序よく、整理して伝えます。

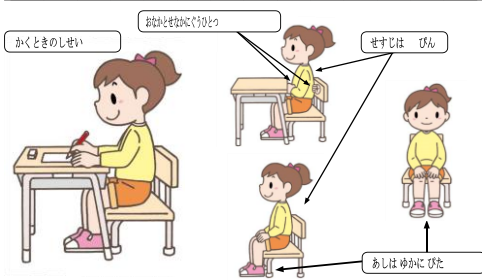
##### 【書<】 ※「課題」は青、「まとめ」は赤

- ①正しい鉛筆の持ち方で書きます。
- ②正しい姿勢で書きます。
- ③ていねいに字を書きます。



#### ＜授業後＞★次の授業の準備をしてから、休み時間に入ります。

しせいの ものさし ぐう・びた・びん。



(2) 机上の整理

鉛筆	1年 2B 2年 2BまたはB 3年~BまたはHB
色鉛筆 (青・赤)	1・2年は色鉛筆 3年~ ボールペン可
消しゴム	四角いもの
15 cm定規	1年生から使用 折りたたみ式不可



(3) 筆入れに入れる物

- ①鉛筆5本程度
- ②色鉛筆（ボールペン）
- ③消しゴム
- ④定規（15 cm）
- ⑤油性ネームペン（2年生以上）

机の上には、学習に集中できるように余計な物は置かない。

基本的には、【鉛筆・消しゴム・色鉛筆またはボールペン（青と赤）・定規】とし、柄はシンプルなもの。

端から定規・鉛筆・消しゴムの順（またはその逆）に置くと鉛筆を落とすことが少なくなる。「置く順序」や「縦向き・横向き」「位置」などは、状況に応じて対応する。

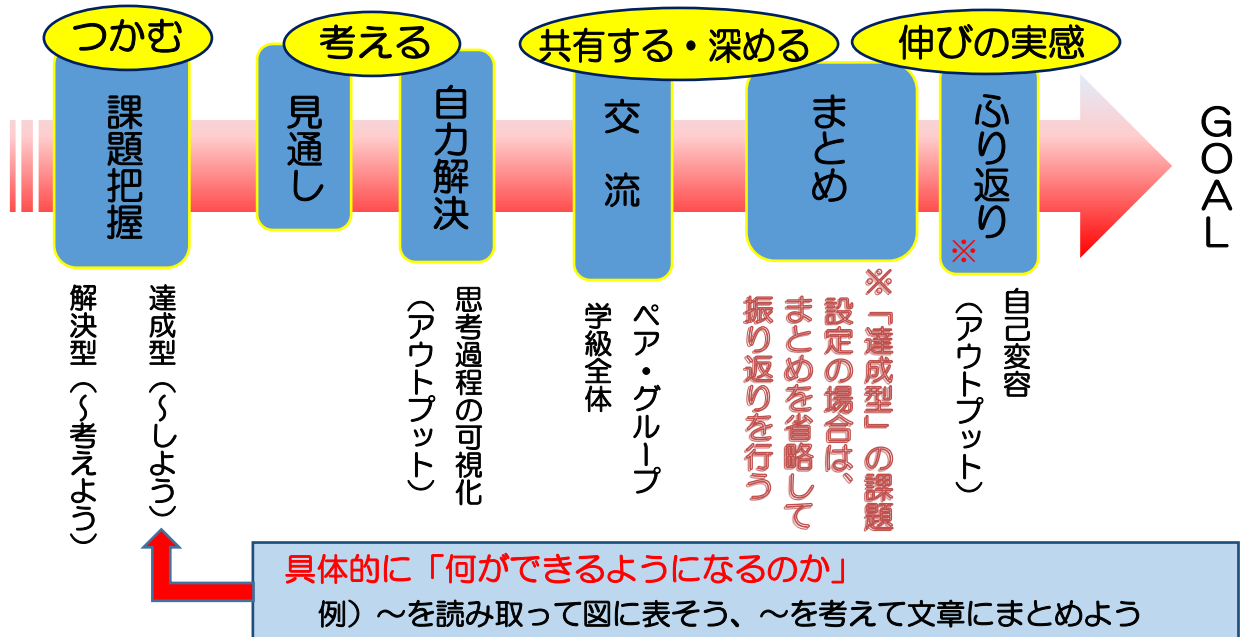
(4) 学習用ノート

学校では、ていねいな文字で学習内容をまとめるノート指導を充実させ、学力の定着を図るため、それぞれの教科で使用するノートを下表のとおりそろえます。

教科	1年生	2年生	3年生	4・5・6年生
国語	8マス 十字リーダー入	15マス 十字リーダー入	18マス 十字リーダー入	5ミリ方眼 十字リーダー入
算数	7マス 十字リーダー入	14マス 十字リーダー入	5ミリ方眼	十字リーダー入
社会			5ミリ方眼	十字リーダー入
理科			5ミリ方眼	十字リーダー入
その他	【必要に応じて】連絡帳・自由帳		5ミリ方眼	十字リーダー入

### 3. 授業の流れ

(1) 1 単位時間の授業展開



(2) 振り返り

子供自身に「振り返り」の意義を実感させ、授業を通して「振り返り」の習慣化を図る工夫、次時の授業への期待を高めることや家庭学習などへつなげることが必要です。

【「振り返り」の指導ポイント】

- ◆ 「振り返り」の目的を子供たちに伝えること。
- ◆ 「振り返り」の時間をしっかり確保し、習慣化すること。
- ◆ 「課題」と「振り返り」がつながるように、振り返る視点を児童生徒に示すこと。
- ◆ 「振り返り」につながる板書・ノートを工夫すること。

【振り返りの視点 (例)】

習得	• 学びの変容を振り返る	「〇〇が分かった。」「〇〇ができるようになった。」 【例】「登場人物の気持ちを読み取るには、その言葉や行動に着目すれば読み取れることが分かった。」
	• 学びの過程や結果を振り返る	「〇〇することが分かった。」「〇〇することができるようになった。」 【例】「いくつかの資料を比較して読むことで、江戸時代の農民と武士の生活の様子が分かった。」
	• 交流を振り返る	「〇〇な考え方もあるんだ。」「Aさんはなぜ、こう考えたのだろう。」(「問い」) 【例】「最初はAさんの考えに反対だったが、話し合いを通して、Aさんの考えが少し理解できるようになった。しかし、自分は〇〇なので～」 「(サーブは)上から打つ方が絶対いいと思っていたけれど、作戦タイムを通して、いろいろな打ち方を試してみようと思った。」
活用探究	• 活用問題に取り組む • 他の単元・教科で活用する • 次につなげる	「〇〇でもできるかやってみよう。」「もっと〇〇について考えたい。」 「もし〇〇だったらどうかな。」(「問い」) 【例】「あさがおの育て方を勉強したので、今度は家でひまわりを育ててみたいと思いました。」 「お礼状の書き方を学んだので、職場体験でお世話になった職場の方にお礼状を書いてみたい。」

(2) 研究推進ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時からの校内研究がスムーズに推進できる素地をつくる。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の研修系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】
- ・各教科の「学習系統表」を完成させる。
- ・校内研究に関わる諸事項について協議、決定させる。

○取組

研究推進WGでは、義務教育学校開校までに次のものを作成、検討し決定します。

<p>【作成するもの】</p> <p><input type="checkbox"/> 教室環境の統一（掲示物）</p> <p>    <input type="checkbox"/> 発表の仕方</p> <p>    <input type="checkbox"/> 学習の姿勢</p> <p>    <input type="checkbox"/> 振り返りのパターン</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 家庭学習のきまり</p> <p><input type="checkbox"/> 学習系統表</p> <p><input type="checkbox"/> 経営計画</p>	<p>【決めるべきこと】</p> <p><input type="checkbox"/> 校内研究推進に関わる諸事項</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究推進の方向性</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究主題</p> <p>    <input type="checkbox"/> 主題設定の理由</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究仮説</p> <p>    <input type="checkbox"/> 検証方法</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究方法</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究内容</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究推進計画</p> <p>    <input type="checkbox"/> 研究構造図</p>
---	---

○展望

- ・作成マストの「学習系統表」について、内容、様式、スケジュールを年度当初に示し、年度末に作成した内容の確認にあてる。（個人業務に落とし込む）
- ・会議内容のメインは「校内研究の在り方」。話し合い、内容を確認次第、経営計画となる原稿を仕上げるイメージ。
- ・教室掲示物は、そのようなものが必要かを協議し、分担をもとに作っていく。
- ・比較的余裕があるWGなので、「教育課程WG」の業務の一部を担うことも想定している。  
※スタートカリキュラム作成、タブレットスキル系統表 等

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	5月17日（金）	構成員と今年度の取組内容の確認 学習系統表作成について（趣旨、内容、分担）
第2回	7月17日（水）	校内研究推進に関わる諸事項の協議① （方向性、主題、設定の理由、研究仮説、検証方法）
第3回	8月29日（木）	校内研究推進に関わる諸事項の協議① （研究方法、研究内容、推進計画、研究構造図）
第4回	9月24日（火）	教室環境の統一についての協議
第5回	12月10日（火）	学習系統表の確認
第6回	1月31日（金）	教室環境（掲示物）の確認
第7回	令和7年 2月25日（火）	1年間の取組の反省

(3) 指導活動ワーキンググループ

○ねらい

- ・義務教育学校開校時から、安定した児童生徒指導や、子供たちの主体的活動がスムーズに推進できるよう、生徒指導の基盤と学級活動、児童生徒会活動等の諸活動の推進計画を作成する。

○ゴール

- ・義務教育学校開校時の指導系業務の7割を整える。【作業すべきことの割合で評価】
- ・「校則」を完成させる。
- ・「自転車通学のきまり」を完成させる。
- ・「児童生徒会組織」「児童生徒会活動」について検討、協議し、決定する。
- ・「部活動体制」について検討、協議し、決定する。
- ・「清掃割当表」について検討、協議し、決定する。
- ・「指導系行事・児童生徒会行事」について検討、協議し、決定する。-

○取組

指導活動WGでは、義務教育学校開校までに次のものを作成、検討し決定します。

【作成するもの】	【決めるべきこと】	【実施事項】
<input type="checkbox"/> 生徒指導に関わること <input type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり） <input type="checkbox"/> 自転車通学のきまり <input type="checkbox"/> 危機管理マニュアル <input type="checkbox"/> 各種災害BCP <input type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針 <input type="checkbox"/> 防災計画 <input type="checkbox"/> アナフィラキシー対応マニュアル <input type="checkbox"/> SC・SSWだより <input type="checkbox"/> スクールバス利用者リスト <input type="checkbox"/> 生徒指導共有ファイル いじめ・問題行動・不登校 等 <input type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること <input type="checkbox"/> 投票用紙 <input type="checkbox"/> 委員会割当表 <input type="checkbox"/> 部活動に関わること <input type="checkbox"/> 部活動運営ガイドライン <input type="checkbox"/> 経営計画	<input type="checkbox"/> 生徒指導に関わること <input type="checkbox"/> 校則（学校生活のきまり） <input type="checkbox"/> 自転車通学のもち方 <input type="checkbox"/> 児童生徒会活動に関わること <input type="checkbox"/> 児童会役員の構成 <input type="checkbox"/> 行事への参画のさせ方 <input type="checkbox"/> 委員会の内容と数 <input type="checkbox"/> 役員改選の時期 <input type="checkbox"/> 部活動に関わること <input type="checkbox"/> 基本的な考え方 <input type="checkbox"/> 運営 <input type="checkbox"/> 地域移行 <input type="checkbox"/> 各種手続き及び留意事項 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 学校行事に関わること <input checked="" type="checkbox"/> 新入生を祝う会 <input checked="" type="checkbox"/> 運動会 <input checked="" type="checkbox"/> 陸上大会 <input checked="" type="checkbox"/> 中体連壮行会 <input checked="" type="checkbox"/> 遠足 <input checked="" type="checkbox"/> 学園祭 <input checked="" type="checkbox"/> ●●フェスティバル <input checked="" type="checkbox"/> 卒業生を送る会 <input checked="" type="checkbox"/> 学芸会 <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全教室 <input checked="" type="checkbox"/> 不審者対応訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 防災教室

○展望

- ・作業量が膨大であることから、マストのものを着実に決定・作成させながら、決めやすい（作りやすい）ものからどんどん手をつける。
- ・「校則」、「児童生徒会」「部活動」「各種行事計画」については、指導参事がたたき台を作っているの、それをもとに検討をする。
- ・各種マニュアルや計画はグループ長が作成し、細かい文書系は部員に作成を依頼する。
- ・年間を通して先を見通して作業を進める必要がある。

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	5月7日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認
第2回	6月3日（月）	生徒指導に関わることの協議・児童生徒会に関わることの協議
第3回	7月3日（水）	生徒指導に関わることの協議・児童生徒会に関わることの協議
第4回	9月30日（月）	生徒指導に関わることの協議・児童生徒会に関わることの協議
第5回	10月29日（木）	作成物の確認（生徒指導G・児童生徒会G）
第6回	11月19日（金）	学校行事に関わることの協議
第7回	12月18日（水）	学校行事に関わることの協議
第8回	令和7年 1月29日（水）	部活動に関わることの協議
第9回	2月27日（木）	部活動に関わることの協議

（4）学校連携ワーキンググループ

○ねらい

- ・中学校への進学に際し、事前に市内小学校6年生児童の交流をもつことで、児童の不安を解消する。
- ・令和8年4月の義務教育学校新設に向けて、段階的に交流学年を広げ、児童の人間関係づくりを円滑に進めていく。
- ・小学校段階から家庭学習に取り組む習慣を身につけさせるとともに、小学校での学習内容の理解・定着を高め、中学校入学後の学習にスムーズにつなげる素地をつくる。
- ・中学校教員の専門的な指導を早期に受けることにより、児童が中学校の授業に慣れるとともに入学する児童の様子について中学校側が把握する。

○ゴール

- ・計画された事業を行い、市内5校の4・5・6年生の95%以上が「楽しかった！」、85%以上が「交流できた！」という気持ちを抱かせる。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの家庭学習の状況を分析し、学習時間の向上を図る。
- ・「家庭学習チャレンジ週間」の取組を通じ、1回目から4回目までの保護者コメントの状況を分析し、保護者関与の向上を図る。
- ・計画された乗り入れ授業を行い、市内5校の5・6年生の90%以上が「中学校の先生の授業をまた受けてみたい」「中学校の先生の授業はわかりやすかった」という気持ちを抱かせる。
- ・小学校版に寄せた中学校の「共通チャレンジシート」を作成する。

○取組

学校連携WGでは、昨年度まで「小学校連携事業部会」と「小中連携事業部会」で取り組んできた事柄を継承し、内容の深化・充実に努め、義務教育学校開校までの期間を通して、児童生徒の円滑な人間関係づくりや、小中一貫した取組の定着を図ります。

<p>【作成するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>家庭学習チャレンジ週間</li> <li><input type="checkbox"/>鏡文書（年4回）</li> <li><input type="checkbox"/>チャレンジシート（年4回）</li> <li><input type="checkbox"/>アンケート集計（年2回）</li> <li>※分析・考察</li> </ul>	<p>【作成するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>乗り入れ授業</li> <li><input type="checkbox"/>計画</li> <li><input type="checkbox"/>アンケート集計</li> <li>※分析・考察</li> </ul>	<p>【作成するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>5校交流会アンケート</li> <li>※分析・考察</li> <li><input type="checkbox"/>合同遠足アンケート</li> <li>※分析・考察</li> </ul>
--	---	---

○展望

- ・計画した事業を着実に推進し、R7の取組をスムーズに進める段取りをつける。

## ○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	5月21日（火）	構成員と今年度の取組内容の確認 家庭学習チャレンジ週間の取組について
	<b>6月6日（木）～12日</b>	<b>家庭学習チャレンジ週間①</b>
第2回	6月24日（月）	第1回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 合同遠足の実施に向けて【概要案】
第3回	7月18日（木）	合同遠足の実施に向けて【細案】
第4回	9月3日（火） ★オンライン	合同遠足の最終確認 第1回5校交流会に向けて①【概要案】
	<b>9月13日（金）</b>	<b>合同遠足</b>
	<b>9月19日（木）～25日</b>	<b>家庭学習チャレンジ週間②</b>
第5回	11月5日（火）	合同遠足反省・第1回5校交流会に向けて②【細案】
	<b>11月14日（木）～20日</b>	<b>家庭学習チャレンジ週間③</b>
	<b>11月29日（金）</b>	<b>第1回5校交流会①（6年生）</b>
第6回	12月19日（火）	第1回5校交流会反省・学年交流会について 第2回5校交流会に向けて①【概要案】
第7回	令和7年1月27日（月）	第2回5校交流会に向けて②【細案】
	<b>2月13日（木）</b>	<b>家庭学習チャレンジ週間④</b>
	<b>2月21日（金）</b>	<b>第2回5校交流会②（4・5年生）</b>
	<b>2月28日（金）</b>	<b>3年学年交流会</b>
	<b>3月7日（金）</b>	<b>2年学年交流会</b>
第8回	3月17日（月）	第4回家庭学習チャレンジ週間の分析・考察 第2回5校交流会及び学年交流会反省 取組の反省と次年度へ向けての展望

かていがくしゅう せいかつ きろく ねんせいよう  
**家庭学習・生活 記録シート 1. 2. 3年生用**



すながわしりつ  
砂川市立【

しょうがっこう  
】小学校

ねん  
年

くみ  
組

ばん  
番

なまえ  
名前

<じかんのもくひょう>

・1年生：20ぷん ・2年生：30ぷん ・3年生：40ぷん

<じぶんのもくひょう>

なんがつ なんにち なんようび	おきたじこく	ねたじこく	べんきょうした じかん	べんきょうしたこと
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど
月 日 ( )	じ いん	じ いん	いんかん	<input type="checkbox"/> ふくしゅう <input type="checkbox"/> よしゅう <input type="checkbox"/> しゅくだい <input type="checkbox"/> どくしよ <input type="checkbox"/> タブレットやドリルなど

<1しゅうかんのふりかえり>



<おうちの人から>(お子さんへの励ましの言葉や学習へのアドバイスをご記入ください)



# 家庭学習・生活 記録シート 4. 5. 6年生用



砂川市立【                      】小学校

年                      組                      番 名前

〈各学年の学習時間の目標〉

・4年生：50分    ・5年生：60分    ・6年生：70分

〈1週間の個人の目標〉

月・日・曜日	起きた時刻	寝た時刻	学習した時間	学習した内容
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など
月 日 (   )	時 分	時 分	分間	<input type="checkbox"/> 今日の授業の復習 <input type="checkbox"/> 明日の授業の予習 <input type="checkbox"/> 宿題 <input type="checkbox"/> 読書 <input type="checkbox"/> タブレットや問題集など

〈1週間の振り返り〉



〈家庭から一言〉(お子さんへの励ましの言葉  
や学習へのアドバイスをご記入ください)

# 家庭学習チャレンジ週間 事後アンケート

名前【 \_\_\_\_\_ 】

砂川市立●●●学校・保護者対象

【全校必須項目】すべての学校で、同じ文言で実施してください。

1. お子さんは、いつもより意欲的に勉強に取り組もうとしていましたか。

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった

2. お子さんの学習時間は、めやすの時間に届いていましたか。

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった

3. 保護者の方からお子さんに励ましの声をかけていただけましたか。

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった

4. その他、お気づきのことがありましたらお書き下さい。

-----
-----

【学校任意項目】必要な学校は、活用してください。

5. 家庭学習強調週間では、タブレット端末を活用して学習ができていましたか。  
(タブレット端末の持ち帰りを行っている学校)

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった

砂川市各小・中学校保護者 様

砂川市小中一貫教育推進委員会  
会長 ● ● ● ●  
(砂川市立●●●●学校長)

第●回・家庭学習チャレンジ週間について（お知らせ）

●●の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本市の教育活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、これまでに実施しました市内統一「家庭学習チャレンジ週間」の際には、家庭学習に取り組む子供たちへの温かいお声かけ、誠にありがとうございました。

つきましては、中学校の定期テスト期間に合わせ、小・中学生と一緒に家庭学習に取り組む、今年度最後の「家庭学習チャレンジ週間」を、下記の通り、市内全ての小中学校で実施しますので、お知らせします。

なお、年間4回実施した家庭学習チャレンジ週間に関するアンケートを、後日各校を通じて実施いたしますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 第●回家庭学習チャレンジ週間について

- ・中学校：●月●日（●）～●月●日（●）の2週間
- ・小学校：●月●日（●）～●月●日（●）の1週間

2 家庭学習チャレンジ週間のねらいについて

- ・中学生は、定期テストに向けた学習の集中期間と位置づけます。
- ・小学生は、中学生の定期テスト（年4回）に合わせ、学んだことをまとめて復習する期間と位置づけ、学習内容のより確かな定着を図ります。
- ・中学校入学後の定期テスト期間を早い段階から小学生に意識させることで、中学校の年間学習サイクルの定着に結びつけます。
- ・市内の小中学生全員が、この期間に集中的に学習するという共通した認識をもたせます。特に、小中学校それぞれに兄弟姉妹がいるご家庭は、中学生のきょうだいをよきお手本として、小学生が学習に取り組むという好循環を生み出せることを期待します。

3 家庭学習の定義について

- ・机等に向かって各自の課題に集中して取り組むものを家庭学習と押さえます。  
※ピアノや、塾の宿題、物の創作等も家庭学習として考えます。  
※水泳やランニング等の運動については、家庭学習としては押さえず、体力づくりとして考えます。

4 学習時間のめやすについて

- ・時間はあくまで目安であり、この時間に到達するかを重視するものではありません。各自の生活スタイルを踏まえ、課題克服に必要な時間と量を確保しながら、普段より少しでも学習に向かおうとする意欲を高めましょう。

## 【各学年のめやす】

- |           |          |          |          |
|-----------|----------|----------|----------|
| ・小1：20分間  | ・小2：30分間 | ・小3：40分間 | ・小4：50分間 |
| ・小5：60分間  | ・小6：70分間 | ・中1：80分間 | ・中2：90分間 |
| ・中3：100分間 |          |          |          |

### 5 チャレンジシートの記入について

- ・学習した時間等をシートに記入します。
- ・ご家庭で保護者の皆さんが記入するスペースもあります。お子さんの学習状況を確認し、一言ご記入願います。
- ・子供たちが学習に集中できる環境づくりと、励まみや努力を認める声かけをお願いいたします。
- ・チャレンジシートは、この期間の子供たちのがんばりを学校と家庭が共有し、同一歩調でほめたり、努力をたたえたりする材料にしたいと考えております。

### 6 その他

- ・本件に関するお問合せは、砂川市教育委員会指導参事（ ）までお願いします。  
☎ 54-2121（内線2006）

### (5) 学校経営ワーキンググループ

#### ○ねらい

- ・義務教育学校開校に向けて、本校の経営方針を定めたり、校内体制等の整備を進めたりすることを通して、円滑な学校運営を可能とさせる。
- ・各WGが作成していく学校運営に関わる詳細について、学校経営者の視点から実効性や持続可能性について勘案し、修正に向けた指導・助言を行う。

#### ○ゴール

- ・学校教育目標や目指す学校像を設定するとともに、学校経営方針を策定する。
- ・申請する加配を決めるとともに、校内人事体制について決定する。

#### ○取組

- ・学校経営WGでは、義務教育学校開校までに次のことについて検討し決定します。

#### 【決めるべきこと】

- 学校経営に関わること
  - 学校教育目標
  - 目指す地域像
- 人事に関わること
  - 申請する加配
  - 市費職員の人数

#### 【決めるべきこと】

- 校内体制に関わること
  - 学年・ブロック体制
  - 校務分掌体制
  - 専科体制
  - 部活動体制
  - 特別委員会体制

#### 【決めるべきこと】

- PTAに関わること
  - ※市P連マターで？
- 学校運営協議会に関わること

学校経営計画・ランドデザイン等の作成へ

・学校経営WGでは、各WGが作成する以下のものについて確認し、修正に向けた指導・助言を行います。

【教育課程WGマター】

- 教育課程（教育計画・配当時数等）
  - 各教科
  - 総合的な学習の時間
  - 児童・生徒会活動
  - 特別支援
  - 学校行事
  - 児童・生徒会活動
  - クラブ活動
- 全体計画
- 時間割
- 特別教室割
- 通知表
- 年間計画
- 学校要覧
- 「よくわかる●●」リーフ
- タブレットスキル系統表
- スタートカリキュラム
- 経営計画

- 
- 教材・副教材
  - プール学習のもち方
  - スキー学習のもち方
  - 武道のもち方
  - 通知表の内容
  - 指導要録のデータ整理
  - 校務支援システムの利活用
  - 学習に関わる持ち物の統一
  - 使用するノートの統一
  - 教室環境の統一（備品整備）
  - テスト発注
  - 旅行的行事の仮予約
  - タブレット端末活用のきまり
  - タブレット端末持ち帰りのきまり

【研究推進WGマター】

- 校内研究推進に関わる諸事項
  - 研究推進の方向性
  - 研究主題・設定の理由
  - 研究仮説
  - 検証方法
  - 研究方法
  - 研究内容
  - 研究推進計画
  - 研究構造図
- 教室環境の統一（掲示物）
  - 発表の仕方・学習の姿勢
  - 振り返りのパターン等
- 学習系統表
- 経営計画

- 学校行事に関わること
  - 入学式
  - 始業式
  - 参観日・懇談会
  - 学校経営説明会
  - 家庭訪問（個人懇談）
  - 宿泊学習
  - 修学旅行
  - 終業式
  - 卒業証書授与式
  - 修了式・離任式
  - 新入生を祝う会
  - 運動会・陸上大会
  - 中体連壮行会
  - 遠足
  - 学芸会・学園祭
  - フェスティバル
  - 卒業生を送る会
  - 学芸会
  - 交通安全教室
  - 避難訓練
  - 防災教室

【指導活動WGマター】

- 生徒指導に関わること
  - 校則（学校生活のきまり）
  - 自転車通学のきまり
  - 危機管理マニュアル
  - 各種災害BCP
  - 学校いじめ防止基本方針
  - 防災計画
  - アナフィラキシー対応マニュアル
  - SC・SSWだより
  - スクールバス利用者リスト
  - 生徒指導共有ファイル
    - ※いじめ・問題行動・不登校 等
- 児童生徒会活動に関わること
  - 児童会役員の構成
  - 行事への参画のさせ方
  - 委員会の内容と数
  - 役員改選の時期
- 部活動に関わること
  - 基本的な考え方
  - 運営
  - 地域移行
  - 各種手続き及び留意事項
  - 部活動運営ガイドライン
- 経営計画

○展望

- ・「学校経営計画」と「グランドデザイン」は今年度中に完成させる。
- ・各種研究・検討、協議については、砂教研の学校経営部会において行うことを基本とするが、その他状況に応じて、定例校長会議において議論することもある。
- ・各WGの協議内容については、WGのアドバイザーを務める校長から適宜他の校長に情報提供をし、取組に関わる情報の共有に努める。
- ・各WGの作成するものの確認は、完成次第適宜行う。

○会議日程（案）

	日程（案）	主な内容
第1回	6月5日（水）	今年度の取組内容の確認 学校経営計画の内容について①
第2回	9月4日（水）	学校経営計画の内容について② 校内人事体制について（学年・ステージ）
第3回	11月13日（水）	学校経営計画の内容について③ 校内人事体制について（校務分掌・部活動）
第4回	令和7年2月5日（水）	申請する加配について グランドデザインについて
適宜	定例校長会の中で	必要に応じた内容で

（6）その他

義務教育学校開校に向けて、作業を進めるべきことは山積しており、それらの具体1つ1つをWGで作成、研究・検討していくが、その他に「小中一貫教育推進委員会」の5つのWGに属さないカテゴリーの内容については、以下のとおりであり、それぞれ記載の組織に検討・協議を依頼する。

ア 特別支援に関わること

- ① 個別の指導計画、支援計画の交流・作成
- ② 校内支援委員会の児童に関わる交流
- ③ 特別支援学級に関わる交流
- ④ **通級指導教室の運用方法決定**
- ⑤ 特別支援学級に在籍する児童生徒の交流計画の検討
- ⑥ 特別支援学級の教室整備計画

砂教研  
特別支援教育サークル  
中央小  
通級指導教室担当教諭

イ 学校図書に関すること

- ① 廃棄、移管について検討・決定
- ② 図書台帳作成方法の検討・決定
- ③ 読書指導方法の検討・決定
- ④ 図書管理方法の検討・決定

市教委事務局  
（学務課・学校再編課・図書館）  
各学校  
図書担当教諭

ウ 学校事務に関すること

- ① 学校財産・備品の整理、移管等
- ② 給食費徴収方法や期間の交流と検討
- ③ PTA 会費徴収方法や期間の交流と検討
- ④ 備品、消耗購入方法や手順の交流と検討
- ⑤ PTA 一般・特別会計予算案作成
- ⑥ 教科書発注・冊数確認
- ⑦ 給食費、教材費納入計画立案

砂教研  
学校事務サークル

エ 学校保健にすること

- ① 健康診断実施要領
- ② 各種健診実施要領
- ③ アレルギー児童の把握と対応  
※エピペン<sup>®</sup>含む
- ④ 保健室経営の方針検討
- ⑤ 備品、消耗品等の検討・決定
- ⑥ 保健室利用児童生徒の実態交流

砂教研  
養護教諭サークル

オ 学校給食に関すること

- ① 給食指導の統一  
※必要な物品の洗い出し→購入
- ② アレルギー対応マニュアル

砂川中 栄養教諭  
給食センター